

## 山梨県高等学校体育連盟の動き（沿革）

- 昭和23年 1月16・17日 学校体育連盟結成準備委員会を甲府市穴切小学校で開く。  
2月23日 中等学校体育連盟創立準備委員会を甲工高校で開催し、規約を審議。  
3月 9日 評議員会開催し、山梨県中等学校体育連盟発足を決定し連盟規約制定。  
4月 1日 山梨県新制高等学校体育連盟と改称（学制改革）  
4月27日 連盟役員会を開催し、常務理事を選出し、連盟運営の原案作成を行う。（加盟校28校）  
7月13日 全国高等学校体育連盟の結成に伴い、山梨県高等学校体育連盟と改称し、看板を書き換え。  
9月28日 関東高等学校体育協会が結成される。  
11月14日 第17回山静高等学校体育大会を開催。  
昭和24年 4月 加盟校27校（専門部は野球部が独立し、ソフトボール送球、ラグビー部が創設され15部）  
6月4・5日 第1回山梨県高等学校総合体育大会を飯田町県営Gを中心に開催（男子11種目、女子9種目）男子甲一、女子山梨が初優勝  
8月17日 第1回大月大会（岳麓地区）を都留第一高で開催。  
11月12・13日 第18回山静高等学校体育大会を開催。  
25年 5月 7日 常任理事会の制度を地方理事と改める。  
学校統合が行われ加盟校20校。  
評議員会は連盟運営費として会費を20円に値上げ。  
6月3・4日 第2回県高等学校総合体育大会開催（登山部門を加え、男子12種目18校、女子10種目17校が参加）  
7月22日 第2回大月大会を開催。  
10月18日 第19回山静高等学校体育大会を甲府で1日で実施。  
12月11日 常任理事会を召集し、総合グラウンド建設特別委員会を構成。  
12月 全国高等学校体育連盟は、KRAFT、KUNST KLARHEITの頭文字K三個のマークを設定。  
26年 4月 評議員会でバドミントン、ダンス、ボクシング部の設置が提案され、ボクシング部を除いて部の新設を認め18専門部となる。  
6月2・3日 第3回県高等学校総合体育大会開催（男子18校、甲二高、甲府高初参加。女子18校、甲一高、甲商高初参加）  
7月21・22日 第3回大月大会開催（2日間で行う）  
10月6・7日 第20回山静高等学校体育大会を甲府市で開催（12種

目を2日間で行う)

- 不明 県高等学校体育連盟賞受賞者24名が決定(卒業式の席で表彰された)
- 27年 4月 評議員会で連盟役員が改選された。
- 5月31日 第4回県高等学校総合体育大会開催(男子19校、身延山高初参加)
- 6月1日 山高初参加)
- 7月22日 第4回大月大会開催(柔道を加え10種目)
- 11月8・9日 第21回山静高等学校体育大会を甲府市で開催。(14種目、軟式野球、柔道オープン競技)
- 28年 4月14日 常務理事会(高校生のスポーツ大会は一人年間7回以内の試合数とするよう指示し、学業とスポーツの両立を計ると共に、より高度な技術を身につけるための対策を打ち出す)
- 5月31・31日 第5回県高等学校体育大会開催(男女18校参加)
- 7月19日 第5回大月大会開催。
- 11月7・8日 第22回山静高等学校体育大会を甲府市で開催。
- 29年 2月23日 連盟規約改正委員会は大幅な改正案を発表。
- 5月27日 甲府市和田町に野球場が完成し竣工式を行う。
- 5月29・30日 第6回県高等学校体育大会開催(男子18校、女子19校農林高初参加)
- 尚、羽球部門で三校が開会式に遅刻したため、大会参加を拒否される。
- 6月30日 第6回大月大会中止(不況により運営費の捻出ができません)
- 11月13・14日 第23回山静高等学校体育大会開催。
- 30年 1月 次年度の山静大会は世情により中止と決定。
- 6月4・5日 第7回県下高等学校総合体育大会開催(男子20校、塩山高、増穂高初参加。剣道、柔道新種目。女子19校、弓道新種目)
- 6月18・19日 第9回関東高校女子バレーボール選手権大会主管開催。(本県初の関東大会主管)
- 31年 4月 定期総会(評議員会)で役員改選を行った。
- 6月2・3日 第8回県下高等学校総合体育大会(男子21校、学院附属高初参加。女子22校学院附属高、塩山高、増穂高初参加)尚、硬式庭球、写真、山岳がオープン参加、盲学校が仮加盟し柔道の部に参加)
- 32年 4月1日 高体連会報第1号発刊。
- 35年 4月16日 高体連定期総会は規約の一部改正を行い、副会長を2名とした。

- 35年 5月28・29日 第12回県下高等学校体育大会は主会場を和田町運動場に移し、24種目を開催した。
- 36年 2月7・8日 第13回県下高等学校総合体育大会スケート競技（山中湖）を春季大会に冬季大会として加えた。
- 2月17・18日 第13回県下高等学校総合体育大会スキー競技（乙女）を春季大会に冬季大会とそて加えた。
- 37年4月20日 連盟事務所を甲府第一高等学校に移転。
- 6月30日 理事会において、フェンシング、ボクシング、ローラースケート、自転車、漕艇部の加盟が認められ、25専門部となる。
- 38年 2月15日 理事会で総合体育大会の在り方を検討し、総合優勝制度の継続と、採点方法の検討がされた。また、専門部長制から部長（連盟参与から選出）・委員長制を採用し次年度より実施。
- 40年 ○高体連規約第3条事業の第1項の「学校体育の調査研究」は過去行ってこなかったが、「課外体育の調査研究」を行うことになる。
- 全国高等学校選手権大会は種目別に開催されてきたが本年度より「総合」の二字を加え、第1回を大分県を中心に「昭和40年度全国高等学校総合体育大会」と銘打って開催（役員選手390名が参加）
- 41年 ○昭和43年20周年を迎えるため、20周年記念事業準備委員会を設置。
- 2月 ○調査研究が2年目になり、全国高体連主催の研究大会で研究成果を発表。
- 42年度 2月18日 ○連盟創立20周年記念式典を県民会館で挙る。
- 43年度 ○第3回全国高等学校男子ソフトボール大会主管開催
- 44年度 ○「児童生徒の運動競技について」の文部次官通達により、対外運動競技の基準が示された。
- 45年度 ○県下高等学校体育大会開催基準要項を設定。
- 46年度 ○新人大会を統括し、県高等学校新人大会として開催。
- 47年度 ○昭和50年度全国高等学校総合体育大会を本県を含む関東4都県で開催することを要請される。
- 48年度 ○「石油危機」、紙代・印刷代の高騰により、47年度48年度合本17号として会誌発行。
- 49年度 ○50年度全国高校総体山梨県実行委員会設立。
- 50年度 ○50年度全国高校総体夏季大会（6種目）開催。
- 51年度 ○新人体育大会組合せを、理事会一括抽選方式に決定。

52年度		○連盟創立30周年記念式典を県民会館で挙
53年度		○第30回県高校総体、創立30周年記念大会開催。
54年度		○昭和56年度全国高校総合体育大会の開催決定（山梨開催：剣道、ボクシング）
55年度		○定通制が加盟。
56年度		○56年度全国高校総体夏季大会（2種目）開催。
57年度		○全国、関東の役員改選期に合わせ58年改選決定。
58年度		○レスリング、なぎなた、ヨット、ホッケーが加盟。 ○かいじ国体に向け高校運動部強化指定制度導入。
59年度		○本連盟主催で、一年生大会開催。 ○白根高校、甲府昭和高校が加盟。
60年度		○第41回国体冬季大会スケート・アイスホッケー競技会開催。
61年度		○第41回国体（かいじ国体）夏季・秋季大会開催。
62年度		○連盟創立40周年記念式典を県民会館で挙
63年度		○第40回県高校総体を創立40周年記念大会として開催。 銃剣道が加盟。主会場を小瀬スポーツ公園に移して開催。
平成 1年度		○平成8年度全国高校総体の開催予定を理事会に報告。
	2月20日	○特殊学校仮加盟
2年度		○平成2年度全国高校総体スケート競技会開催。
3年度		○県立ろう学校が加盟。 ○平成8年度全国高校総体夏季大会開催申請書提出。
4年度		○会費を200円値上げし、700円とする。
5年度		○県高校総体春季大会の主会場を小瀬スポーツ公園に移して開催。
6年度		○平成8年度全国高校総体地区推進委員会設立。
7年度		○平成8年～10年度（第5期）強化指定校内定。
8年度		○平成8年度全国高校総体夏季大会開催。 山梨県選手団、933名（役員10、監督167、選手756）
	12月3日	○第6回理事会で、平成9年度新人体育大会の期日について、国民体育大会と期日が重なるため、11月1日（土）2日（日）に決定。
9年度		○創立50周年事業推進のため創立50周年記念事業準備委員会の設置が承認された。 ○運動部活動推進・傷害防止対策委員会を設置し、従来の強化対策委員会を含めて、研究専門部に所属する委員会とした。 ○新設校の甲府城西高校の加盟が承認された。
10年	2月21日	○連盟創立50周年記念式典をアピオ（平安の間）で挙

- 10年度 ○連盟規約役員、研究部規定、表彰規定の一部改正。
- 11年度 ○県高体連会議開催についての会議名称について。専門部顧問会議名称についての徹底を図る。
- 12年度 ○旅費令達による、高体連関係会議名称が通知される。  
○会費を生徒一人700円を800円とし、冬季インターハイの助成金とす。但し、13年度は700円に戻す。
- 13年 9月4日 ○第7期山梨県高等学校運動部強化指定校（内定）
- 14年度 ○第7期（平成14年度～16年度）山梨県高等学校運動部強化指定校決定。  
○カヌー専門部高体連加盟。  
○諸般の教育改革及び各種大会の反省を踏まえ、13項目の諸課題を提示し、検討委員会を組織する。  
（諸課題検討委員会、県高校総体検討委員会の両委員会新設）
- 15年度 4月15日 ○県特殊諸学校が特殊教育諸学校専門部として加盟。  
○一年生大会の合同チームによる参加を承認。  
12月 9日 ○全国高校総体冬季大会壮行会第1回を行う。
- 16年 2月10日 ○高体連主管大会会議（第1回理事会）と評議員会及び県高校総体・組合わせ会議を次年度から一本化で承認。  
○県高体連規約・規定の一部見直しを行い承認。
- 16年度 9月7日 ○第8期（平成17年度～19年度）山梨県高等学校運動部強化指定校内定（122部）  
10月5日 ○高体連会費一人700円を200円値上げし、900円とする。（平成17年度から施行）  
12月3日 ○全国高校総体冬季大会壮行会第2回を行う。  
○ライフル射撃専門部高体連加盟。
- 17年度 4月1日 ○事務局を県体育館内に移転  
4月18日 ○規約改正：退職表彰は今年度をもって廃止とした。  
6月1日 ○スケート全国総体平成19年度開催が発表された。  
18年1月26日 ○カヌー全国高校総体平成18年度開催が高体連理事会において承認された。  
2月21日 ○第8期（平成17年度～19年度）山梨県高等学校運動部強化指定校は入試制度変更のため18年度をもって終了し19年度に第9期としてスタートすることが決定した。（※平成18年6月県教委と協議の上、第9期のスタートは20年度に再度変更になった。）
- 18年度 8月5日～9日 ○全国高校総体カヌー競技会を富士河口湖町で開催  
9月22日 ○平成19年度全国高校総体スケート・アイスホッケー競技会山梨県実行委員会を設立
- 19年2月16日 ○第9期（平成20年～22年）強化指定運動部内定

- 〃 ○1年生大会が県高体連主催からはずれず。
- 19年度 ○第9期（平成20年～22年）強化指定運動部開始
- 20年1月21日 ○平成19年度全国高校総体スケート・アイスホッケー競技  
～27日 が山梨県で開催
- 20年2月15日 ○連盟創立60周年記念式典をベルクラック甲府で挙
- 20年度 12月16日 ○部員不足による複数校合同チームの大会参加の改訂
- 21年度 ○「県高体連主催大会に関する新型インフルエンザへの対応につい  
て」の通知
- 22年度 4月19日 ○第10期（平成23年～25年）強化指定運動部内定  
○石和高校・山梨園芸高校が統合 笛吹高校が加盟
- 23年度 ○第10期（平成23年～25年）強化指定運動部開始
- 24年度 ○
- 25年度 ○桂高校・谷村工業高校が統合 都留興譲館高校が加盟
- 10月 1日 ○事務局を甲府市東光寺町1995-1の愛宕分室に移転
- 26年2月25日 ○第11期（平成26年～28年）強化指定運動部内定
- 26年度 ○第11期（平成26年～28年）強化指定運動部開始
- 5月27日 ○高体連会費一人900円を200円値上げし、1,100  
円とする。（平成27年度から施行）
- 8月1日～20日 ○南関東総体2014が山梨県・東京都・神奈川県・千葉  
県で開催
- 2月18日 要覧の一部を改正  
○県総体のポスター・プログラムの図案が会誌の表紙に承認